

## Basic Information / 基本情報

### Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

**2012年11月から2013年12月まで**

### Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

**16 member**

### Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

#### 【協力】

**横浜市教育委員会**

**横浜デジタルアーツ専門学校**

**横浜雙葉中学高等学校**

### Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundreded dollar

**twentysix thousand seven hundreded dollar**

### Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

**0**

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

**なし**

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

横浜市に在住する300万人の親世代の人々

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI横浜は、思いやり溢れる社会の実現のため横浜の全ての人々が互いに思いやりを持つようになることを目的とします。

そのためにまず、親世代が高度な道德心をもつようにPOSITIVE CHANGEする機会を提供する目的で事業を実施します。

人は一人では生きていけません。

道德とは「人として守るべき行いや社会を円満に営んでいく為にすべき行い。」を意味します。個人の能力が惜しみなく発揮され、思いやる溢れる社会の実現のためには、私たちには正しい道を指し示す道德が必要なのです。

道德の一つは、武士道における至高の徳の一つ、人としての心の規範「誠」であると考えます。

「道德を行動に移せないのは道德を知らないのと同じ」という思想「知行合一」を年間研修テーマとしました。

次の3項目を研修の目標とします。

- (1) 真実、誠実に行動できる道德心を育成すること。
- (2) 自己中心的な考え方から他者中心的な考え方に変革することを促進すること。
- (3) 様々なコミュニティにおいてリーダーシップを発揮できる能力を育成すること。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

人それぞれ道徳心はありますが、それを「行動に移せないのは道徳を知らないのと同じ」ということで年間の研修テーマ「知行合一」とし行動に移せるようになるための研修を構成しました。青年会議所メンバーを含めた私たち親世代が3つの研修事業に連続して参加して頂くことで、より深い道徳観が身につきます。

各研修事業は視点が異なったものであり、それぞれ相互補完的に実施され、その都度各研修事業は完結していきます。

研修効果を高めるため、研修会場は、第一回目は研修室、第二回目は学校、第三回目は寺院で実施し、研修時間は概ね4時間から6時間です。

研修の構成は、各回最初に我々が作成した道徳を考える独自セルフチェックシートを実施し、次に講師講演やパネルディスカッション、最後にワークショップなどの実践になります。

独自セルフチェックシートの内容は、例えば「心からありがとうと言っているか」、「家族や恋人など大切な人に感謝を伝えているか」、「食べ物を粗末にしていないか」などの生きる上で当たり前のことを問うチェックシートです。

第1回目の個別テーマを「道徳を徹底的に学ぶ」とし徳育の講師をお招きし道徳とはなにかを学びました。ワークショップでは、メンバー同士で道徳とはなにかを議論しました。

第2回目の個別テーマを「道徳を行動に移す機会の提供」とし家庭での親の役割や公教育のあり方を考え行動に移すため、横浜市教育委員会や親学の講師をお招き、パネルディスカッション形式で、道徳教育が公教育でどうなされているか、私教育ではどうあるべきかを議論しました。

第3回目の個別テーマを「私にとって大切なもの」とし1年間学んだものを家庭や会社、地域社会で活かし続けるために、夢の与える力、やり遂げることの重要性、人に支えられていることを学ぶため宇宙飛行士を講師としてお招きしました。ワークショップでは、市民とともに体を動かしながらリーダーシップや協調性、思いやりについて学びました。

また最後の回には、子どもに道徳を身につけさせるためにオリジナル絵本を読み聞かせを実施しました。教育学上、絵本の読み聞かせは言葉を学び、感性を磨き、表現力や創造力を高め、読み手と聞き手が相互に心を通わせることが可能であるとの研究成果があり、実際に公教育でも実施されております。

今回の絵本は、過去教科書にも掲載されたことがある、横浜を舞台とした短編文学「一房の葡萄」(有島武郎著)を、我々メンバーがリライトしたものになります。思想などの偏りがないように、また、表現が難しくならず、さらに原作の道徳的な素養を崩さないようにすることに注意しました。同じ短編文学を読みながらもメンバーそれぞれの道徳的な見解の違いがありましたが、何度もリライトし、意見の交換をする中で、多様な道徳観が共通の道徳観にまとまったことがメンバーの気づきであり学びでした。万全を期するために横浜市教育委員会に思想的な校正を、志茂田景樹氏(日本の最も有名な文学賞の一つを受賞した作家)に表現の校正をそれぞれ依頼しました。イラストは横浜に所在する専門学校生に依頼しました。

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

○横浜青年会議所メンバーの各回の参加者は第1回目100名、第2回目87名、第3回目は99名でした。

○独自セルフチェックシート「誠 POSITIVE CHECK」の製作を通じて、メンバーの規範意識の向上に繋がりました。

○各回、独自セルフチェックシート「誠 POSITIVE CHECK」の上位者結果をレーダーチャート形式に公表しました。各回視点が異なりますが、上位者の結果は、比較的大きな綺麗な円を描きました。一方下位者の結果は小さな綺麗な円を描く傾向にありました。このことから、下位者は不誠実、不正直、独善的、利己的な傾向であることがわかります。

○第1回目の事業前に道徳的素養が身に付いているかとのアンケートを実施し、約57%が身に付いていないと回答しました。事業後には道徳的素養が身に付いたと約73%が回答しました。

○第2回目の事業前に道徳的素養が身に付いているかとのアンケートを実施し、約70%が身に付いていると回答しましたが、家庭や地域で道徳教育をしていないが約60%を占めた。事業を通じて、家庭や地域で道徳教育を実施しているまたは実施するとの回答がほぼ100%となりました。

○公教育における道徳教育では不十分との回答が約47%を占め、事業を通じて、家庭での「あいさつ」や「マナーの徹底」などから始める道徳教育が重要であるとの回答がほぼ100%となりました。

○年間を通じて自分の道徳観に変化を感じたと約89%が回答し、読み聞かせを家庭で実践しているメンバーが増えるなど、十分な事業の効果がありました。

○オリジナル絵本「一房の葡萄」については実際に朝の読み聞かせ運動に利用した小学校や、道徳の授業において実際に読み聞かせとして活用した小学校がありました。

○オリジナル絵本「一房の葡萄」の読み聞かせを実施した小学校においてアンケートを教職員と児童に対して実施し、回答を精査した結果、次のようなPOSITIVE CHANGEがありました。

【教職員】～絵本や読み聞かせ全般についての感想～

- ・ 私たちも子どもを導く上で大事なことを再確認できた。
- ・ 絵本の読み聞かせを子どもの想像力をかきたてるだけでなく、大人も「あるべき姿」を再確認できる機会であった。

- ・「叱る」ことが全て導くことではない。「赦す」ことも導きに通じる。
- ・子ども達から様々な意見を確認でき、子どもの多様性を感じた。
- ・今後もこのような活動を続けてほしい。

【子ども】～絵本についての感想～

- ・盗むことはいけないことだ。
- ・友達は大事で、仲直りできてよかった。
- ・もっと多くの絵本を読んでほしい。

以上のことから、私たちの運動が実際の教育現場で影響を及ぼし、親世代や子どもたちの道徳観に多くの影響を与えていることを確認しました。

Actions Taken 行動

説明：

【誠の人確立研修の全体の構想の企画、立案、審議】

- 平成24年11月、誠の人確立研修の全体の構想の企画、立案
- 平成25年2月12日、(一社)横浜青年会議所理事会にて誠の人確立研修の全体の構想の承認

【第1回誠の人確立研修の企画、立案、審議及び事業実施に至るまで】

- 平成24年11月、第1回誠の人確立研修の企画、立案
- 平成25年2月12日、(一社)横浜青年会議所理事会にて第1回誠の人確立研修の計画議案承認
- 平成25年2月12日以降メンバーによる委員会PRにて広報活動
- 平成25年3月2日、第1回誠の人確立研修事業実施
  - ・狙い／道徳を徹底的に学ぶ
  - ・場所／安田生命ラジオ日本ビル3階 セミナー会場
  - ・時間／12:50～17:30
  - ・人数／100名(計画100名)
  - ・講師／青木清氏(特定非営利活動法人徳育と人間力育成研究所 理事長)
  - ・手法／「誠 POSITIVE CHECK」の実施、講師講演、ワークショップ

【第2回誠の人確立研修の企画、立案、審議及び事業実施に至るまで】

- 平成24年12月～平成25年1月、第2回誠の人確立研修の企画、立案
- 平成25年3月12日、(一社)横浜青年会議所理事会にて第2回誠の人確立研修の計画議案承認
- 平成25年3月12日以降メンバーによる委員会PRにて広報活動
- 平成25年5月18日、第2回誠の人確立研修事業実施
  - ・狙い／道徳を行動に移すための機会の提供
  - ・場所／学校法人横浜雙葉学園中学高等学校 視聴覚室

- ・時間／13:00～17:00
- ・人数／青年会議所メンバー：87名（計画100名）、一般市民18名（計画60名）
- ・講師／横浜市教育委員会、藤山守重氏（株式会社七田チャイルドアカデミー 代表取締役）、大森弘氏（一般財団法人親学推進協会 専務理事）
- ・手法／「誠 POSITIVE CHECK」の実施、パネルディスカッション、講師講演、ワークショップ

**【第3回誠の人確立研修の企画、立案、審議及び事業実施に至るまで】**

- 平成25年3月～平成25年5月、第3回誠の人確立研修の企画、立案
- 平成25年7月9日、（一社）横浜青年会議所理事会にて第3回誠の人確立研修の計画議案承認
- 平成25年7月9日以降メンバーによる委員会PR、横浜市鶴見区の小学校に訪問しフライヤーを用いた広報活動、地域情報誌にて広報活動
- 平成25年9月14日、第3回誠の人確立研修事業実施

- ・狙い／私にとって大切なもの

- ・場所／曹洞宗大本山總持寺 三松閣4階大講堂

- ・時間／10:00～16:00

- ・人数／青年会議所メンバー：99名（計画100名）、一般市民：218名（計画200名）

- ・講師／山崎直子氏（宇宙飛行士）、野原秀樹氏（株式会社MANY ABILITIES 代表取締役）、志茂田景樹氏（株式会社志茂田景樹事務所 代表取締役）

- ・手法／「誠 POSITIVE CHECK」の実施、講師講演、ワークショップ、絵本読み聞かせ

**【誠の人確立研修の検証に至るまで】**

- 平成25年9月～平成25年11月、誠の人確立研修の検証開始
- 平成25年12月10日、（一社）横浜青年会議所理事会にて誠の人確立研修の検証議案承認

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

**【達成できた部分】**

○視点の異なる独自セルフチェックシートを連続的に実施することより、自分自身の道徳心と効果的に向き合い、自分の道徳観や社会における自分の役割を再確認することができました。

○オリジナル絵本「一房の葡萄」は、横浜市教育委員会からその内容の充実を評価され横浜市より感謝状を贈呈して頂きました。またオリジナル絵本「一房の葡萄」は横浜市内公立小学校345校（対象児童数約18万人）、横浜市役所などに配置され、朝の読み聞かせの推進対象絵本とされました。

○多くの方の話を伺うことで、多くの考え方や価値観を学ぶことができ、今後の生き方のヒントになりました。

○社会における道徳のあり方を確認し、家庭や地域において道徳教育を実施しようとするポジティブチェンジが生まれました。

**【達成できなかった部分】**

○得られた知識をアウトプットする機会が事業の中で少なく、自身のポジティブチェンジを行動にすることが個人個人に委ねられた。

**【改善策】**

○研修事業は終始座学に終わることが多く、特に道徳のテーマは抽象的になりやすいため、事業のコンテンツにおいて、アウトプットする要素や具体的に体を動かすなどの要素を含めたコンテンツをより多く取り入れるべきであった。

Objectives, Planning, Finance and Execution

目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

**【目的】**

JCI横浜は、思いやり溢れる社会の実現のため横浜の全ての人々が互いに思いやりを持つようになることを目的とします。

そのためにまず、親世代が高度な道徳心をもつようにPOSITIVE CHANGEする機会を提供する目的で事業を実施します。

**【目標】**

より高度な道徳心を兼ね備えるリーダー、即ち「誠の人」になることを目的としました。

**【誠の人とは】**

リーダーとして自己を律し、高い道徳性を持ち、どんな状況におかれても真実、誠実に何事にも積極的に取り組み、目標達成のために真摯に行動する人。

**【年間研修テーマ～知行合一～】**

知行合一とは「行動できないのは知らないことと同じである。」という意味。  
年間の研修を通じて自己の道徳心と対峙し誠の人になること、つまり行動できる人になることを年間研修テーマとしました。

【個別研修テーマ】

第1回誠の人確立研修～知～

道徳とはなにか、なぜ必要なのかを徹底的に知り、理解を深めることをテーマとしました。

第2回誠の人確立研修～行～

個人の最も身近なコミュニティである家庭において、子どもを正しく導くために親としての役割や責任を考え、共感し合える家庭を構築できる機会を提供することをテーマとしました。

第3回誠の人確立研修～合一～

大切なものを思い描くには、自分を知り、自身に問いかけ続けることによって出てくる答えであり、その答えは必ず、生きていくうえでの行動指針となります。その為、自身に対して問いかけることが積極的変化の創造の原動力に繋がることを確信し、最後の研修のテーマとしました。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

この事業は、個人の道徳的な素養を高め、思いやり溢れる社会の実現のために、リーダーとして行動しようとするものである。よって、

○ JCI クリッド／人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である

○ JCI ミッション／より良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長の機会を提供すること

に合致する。

また、この事業は、JCI の活動計画に則り、我々を含む多くの市民を対象とするものである。よって、

I. JCI ミッション、ビジョン、バリュー

II. 会員— 新規獲得および定着

IV. JCI プログラム

V. JCI イベント

VII. JCI トレーニング

に合致する。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？

予算に基づき適正に支出され、予算外の支出は一切ない。

**【予算の内訳の概要】**

(収入の部)

事業収入 267万円

(支出の部)

会場設営費 52万円

運営費 25万円

講師関係費 139万円

資料作成費 19万円

参加記念品代 28万円

消耗品代 2万円

予備費 2万円

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業はJCIのミッションとヴィジョンを推進しましたか？

**JCI MISSION**

発展・成長の機会を提供し、能動的に事業に参加するという意識高揚のために、「誠の人マイスター賞」を創設し、より高度な道徳的素養が身に付いたメンバーを称えて参りました。

通年の事業を通して道徳を深く研鑽することで、どんな状況におかれても誠実に行動する(誠の人=誠の人マイスター)にPOSITIVE CHANGEし、青年会議所の将来を担うべき責任ある人材になります。

**JCI VISION**

第2回目と第3回目の事業においては、市民動員を図りました。市民とともに道徳を学び、ワークショップを実践することにより、市民とのネットワークを構築し、主導的な役割を果たすことが出来ました。

Membership Participation 会員の参加率

By number, how many members were involved in this program?

事業のスタッフは何人？

16人

By percentage, how many members of the Local Organization were involved in this program?

LOM メンバーの参加率は？

約 55%

Describe the main roles of the participating members in this program

このプログラムで参加しているメンバーの主要な役割を簡潔に記述してください

**【全体総指揮】**

事業全体を把握しての取りまとめ、各担当者への指示 1名

**【事業スキームの構築】**

1. 現状把握、調査、研究及び企画草案作成 3名
2. 協力団体・企業との連絡調整 3名

**【事業推進のためのツール作製】**

1. 道徳を考えるオリジナルセルフチェックシートの作成 13名
2. 配布物の作成 5名
3. 問い合わせへの対応 3名

**【絵本の製作】**

1. 絵本の製作総指揮 1名
2. 絵本の題材選定 2名
3. 絵本のリライト 13名
4. 公共団体との打ち合わせ 3名
5. 協力団体との打ち合わせ 3名

**【ローラー作戦】**

参加者を募るため、地域の小学校を巡回 13名

**【研修事業の運営】**

1. 会場の設営 13名
2. 音響映像 2名
3. タイムスケジュールの管理 2名
4. ツールの配布 5名
5. アンケート用紙の配布、回収 6名

Skills Developed 習得された技術・能力

What skills were developed in this program?

どんな技術・能力が、このプログラムで習得されましたか？

- 人間として正しい道とはなにかを見抜く力を確立しました。
- 正しい道を敢然と突き進む強い力を確立しました。
- 自己中心的な考え方から他者中心的な考え方に変革し、人間として他を思いやる力を確立しました。
- 何事にも真実・誠実に取り組む姿勢が身に付きました。
- なにが恥ずべき行為なのかを考える力が身に付きました。
- 共助共生の考え方が身に付きました。
- リーダーとしての役割を十分に認識し、他の模範となりうる行動がとれるようになりました。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

オリジナル絵本「一房の葡萄」は、横浜市教育委員会からその内容の充実を評価され、横浜市から感謝状を贈呈して頂きました。

またオリジナル絵本「一房の葡萄」は横浜市内公立小学校345校（対象児童数約18万人）、横浜市役所などに配置され、朝の読み聞かせの推進対象絵本とされました。

また、実際に朝の読み聞かせ運動に利用した小学校や、道徳の授業において実際に読み聞かせとして活用した小学校がありました。

読み聞かせのアンケートを教職員と児童に対して実施し、回答を精査した結果、次のようなPOSITIVE CHANGEがありました。

【教職員】～絵本や読み聞かせ全般についての感想～

- ・ 私たちも子どもを導く上で大事なことを再確認できた。
- ・ 絵本の読み聞かせを子どもの想像力をかきたてるだけでなく、大人も「あるべき姿」を再確認できる機会であった。
- ・ 「叱る」ことが全て導くことではない。
- ・ 子ども達から様々な意見を確認でき、子どもの多様性を感じた。
- ・ 今後もこのような活動を続けてほしい。

【子ども】～絵本についての感想～

- ・ 盗むことはいけないことだ。
- ・ 友達は大事で、仲直りできてよかった。
- ・ もっと多くの絵本を読んでほしい。

以上のことから、私たちの運動が実際の教育現場で影響を及ぼし、親世代や子どもたちの道徳観に多くの影響を与えていることを確認しました。

## Impact on Participants 参加者への影響

What was the intended impact on the participants?

参加者への意図された影響は、何でしたか？

### 【第1回研修】

社会の中で、我々が気持ち良く生活していく為には、「相手を理解し、思いやる気持ち」を持つことがとても重要です。道徳とはなにかを研鑽し、そうした気持ちを今以上に育てることを意図しました。

### 【第2回研修】

地域社会で子どもを育てるということに意識を向け、社会のリーダーであることを改めて自覚し、地域社会の為に何をすればよいかを実感し、日々の生活の中で実践出来ることを意図しました。

### 【第3回研修】

- ・自身を知り、相手を理解し、思いやりの心を持ち、何かに一生懸命に行動し続ける人間に変化していくことを意図しました。
- ・人は一人では生きていけず、多くの人のサポートがあり成立していることを再認識することを意図しました。
- ・絵本の読み聞かせを通じて、子どもを導く力や親のあるべき姿を見つめ直すことを意図しました。

Describe the actual impact on the participants.

参加者への実際の影響を記述してください。

各研修後に参加者に対しアンケートを実施し、回答を精査した結果、次のようなポジティブチェンジがありました。

### 【第1回誠の人確立研修】

社会の中で、私たちが気持ち良く生活していく為には、道徳は必要であると学んだ結果、あいさつなど取り組めることから行動する人が生まれました。

### 【第2回誠の人確立研修】

地域社会で子どもを育てるということに意識を向け、社会のリーダーであることを改めて自覚し、地域社会の為に何をすればよいかを実感した結果、公教育だけに任せることなく、これからは家庭であいさつなどの道徳教育に取り組む人が生まれました。

### 【第3回誠の人確立研修】

- ・自身を知り、相手を理解し、思いやりの心を持ち、何かに一生懸命に行動し続ける人間に変化していくことの重要性や必要性を学んだ結果、夢の持つ力を理解し、全ての事柄に真摯に取り組むことが、誠であると理解した人が生まれました。
- ・何かを成し遂げるためには自分だけでなく他人の協力も必要であると理解した人が生まれました。

・絵本の読み聞かせを子どもの想像力をかきたてるだけでなく、大人も「あるべき姿」を再確認できる機会であったので、絵本の読み聞かせを実施する人が生まれました。

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

○我々が人としての、リーダーとしての責任を理解すること

○より高度な道德心を兼ね備えるリーダーになることが地域社会から与えられた使命であり期待に応えることになること。

○得られた能力を惜しみなく発揮することが地域社会の発展の原動力になること。

○他を思いやる力を身につけることにより家庭や会社、我々が住み暮らす地域社会において、思いやり溢れる社会の実現に寄与すること。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

道德をいかに学び、自己を律し、行動に移すかということに重点を置いて事業を行いました。

道德は単年度に終わるものではなく、ましてやJCの中に限られたものでもありません。

今後、我々が今以上に高度な道德心をもってリーダーシップを発揮するためには、継続的に反復的に同様の研修を実施し、理解の浸透を図る必要があります。

誠などに代表される道德の精神性は普遍的な価値を持つものです。この精神性が広く理解される研修事業を、座学に終わることなく手法をかえながら実施する必要があります。